

(一社)甲府青年会議所2023年度

年間事業計画書(案)

総務室	総務例会委員会	委員長 大沼 栄太
-----	---------	-----------

1. 基本理念

活動に専念できる環境を提供するとともに、会員の例会への参加意欲を向上させ、組織の基盤を強化する。

2. 事業名・事業目的/内容・予算・開催月

事業名	事業目的 / 内容	予算	開催月
1. 総務例会事業	会員が滞りなく活動できるよう支えるとともに、例会への出席率を向上させる。 ・諸会議の設営及び議事録の作成 ・事務局備品の管理 ・スパークプラグの作成及び管理 ・会員慶弔	350,000	通年
2. 会員手帳の作成及び会員名簿の管理	2023年度の各種情報を周知し、会員の活動を支えるために、会員手帳の作成及び会員名簿の管理を行う。	500,000	1月、5月、10月
3. 1月例会 (新年会)	2023年度の(一社)甲府青年会議所の活動方針を関係各所に周知し、理解と賛同を得ることで、より一層つながりを深められる例会を開催する。	700,000	1月
4. 11月例会 (事業案協議)	2024年度の活動方針と事業内容を会員同士で協議する例会を開催する。	30,000	11月
5. 年間事業報告書の作成	2023年度事業報告書を作成し会員や関係各所に周知する。	5,000	12月
予算合計		1,585,000	

参考資料一覧

	資料名称
01	基本理念作成シート

審査、協議、及び審議指摘事項

● 第01回財総予定者会議 ●開催日 2022年09月15日(木曜日) ●審査

	指摘・質問	対応
01	スパークプラグの作成及び管理は財務室で行うので、削除してください。	該当部分を削除いたしました。
02	事業名の2. 会員手帳の作成及び会員名簿の管理の2行目が先頭合わせになっているので、1マスずらしてください。	該当部分を1マスずらし修正いたしました。
03	事業目的の会議所活動を支えるためにの後に句読点をつけ、会員手帳の作成の後の句読点を削除してください。	事業目的の会議所活動を支えるためにの後に句読点をつけ、会員手帳の作成の後の句読点を削除致しました。
04	1月例の事業目的の多くの方からご理解とご協力の部分は、ごを削除してください。	指摘のとおり「ご」を削除致しました。

● 第01回三役予定者会議 ●開催日 2022年09月22日(木曜日) ●審査

	指摘・質問	対応
01	事業目的・事業名と間については二行入っていますが、一行に修正してください。	事業目的・事業名の間を一行に修正いたしました。
02	基本理念の会員の出席率向上を支援の部分ですが、向上を支援というのが、言葉的に噛み合っていないと思います。	「円滑な総務運営を行うとともに例会への出席義務を徹底させ、会員同士の相互理解を補翼し強固な組織基盤を形成する。」に変更いたしました。
03	1月例会の事業目的について、事業内容の主語がどこなのか分かりづらいので再考をお願いします。11月例会の事業目的についても同様です。	「(一社)甲府青年会議所の2023年度の方向性を示し、関係各所と培ってきた絆と関係を今後も継続していくために賛同を得られる例会を開催する。」に変更いたしました。
04	11月例会の事業目的内の理事役員とは次年度の予定者のことを指しますか。次年度を指しているのであれば予定者という文言を入れてください。	該当部分を「理事予定者」と変更いたしました。
05	理事役員と会員の双方向のコミュニケーションとは何のために行うのか教えてください。	活発な議論をし意識統一を図るためです。
06	コミュニケーションを意識した例会というのは目的として、ふさわしくないと思います。コミュニケーションを意識するというのは手法になるので、事業目的をもっと基本理念に結び付くように考えてください。	「理事役員予定者と会員で2024年度の活動方針と事業内容を目的をもって議論をし意識統一を図る例会を開催する」に変更いたしました。

● 第01回臨時三役会議 ●開催日 2022年09月26日(月曜日) ●審査

	指摘・質問	対応
01	基本理念について、「補翼」という言葉を選んだ理由を教えてください。	寄り添って助けるという意味で補佐・補助と同義語ですが文面が固くなるために選びました。

02	例会に出席するからこそ得られるものを基本理念に落とし込んでほしい。過去の理念も確認して言葉を選んでください。	得られるものは主体性と考え、「会員の意識改革を行うことで組織の基盤を強固なものにする」と基本理念に記載いたしました。
03	総務例会事業の出席率を向上させるための取り組みについて、取り組みを行うとどうなるかについても記載をしてください。	「自主的に活動に参加する会員を増やす事業を行う。」と記載しました。
04	1月例会の事業目的は、言葉がつぎはぎに感じてしまいます。過去の議案も確認して言葉を選んでください。	「2023年度の活動方針を関係各所に周知し、（一社）甲府青年会議所とのつながりを深めると同時に会員の自覚と会議所活動への意欲を高める例会を開催する。」に変更いたしました。

● 第02回理事予定者会議 ●開催日 2022年9月30日（金曜日） ●協議

	指摘・質問	対応
01	例会の出席率をあげるために、他の委員会に対してどういったアプローチを考えているか教えてください。	各委員会から出席率の低い会員の情報を共有してもらい、積極的に聞き取り等のコミュニケーションを図ってこうと考えています。
02	メルシーライフ推進委員会、JC活動支援委員会との活動内容が重ならないようにすみ分けをしてください。	総務例会委員会といたしましてはあくまでも例会への出席率向上を目的とした会員の意識改革なので活動内容が重ならないと考えています。
03	どんなことが原因で現在は会員が活動に専念できていないと考えているか教えてください。	多様な会員が増えてきており、JCの時間を優先に使うことができない会員が増えていると考えるからです。
04	総務例会委員会が解決できない問題もあると思います。解決できない問題を記載したり、発言しないように注意してください。	今後、そのような発言をしないよう注意いたします。
05	1月例会を総務例会委員会が担当する理由を教えてください。	一つ目が会員が全力で活動に取り組むべく例会や各事業が円滑に進められるように、粛々とやるべきことを当たり前に遂行する姿勢を示すことで各委員会の見本となること。二つ目が、組織の目指すべき方向性を確認し、会員の相互理解を深め、様々な例会、事業に対しての当事者意識を高めることで例会への意欲を高めること。この二つが総務例会委員会が担当する理由です。

● 第01回萩原グループ会議 ●開催日 2022年10月11日（火曜日） ●協議

	指摘・質問	対応
01	1月例会を総務例会委員会が担当する理由を改めて教えてください。	組織の屋台骨を担う総務例会委員会が新たな活動への一歩を踏み出す1月例会を滞りなく実施することにより組織の基礎がしっかりしていることを内外に伝え今後の他の委員会が行う事業や例会について期待していただける効果があります。
02	1月例会の事業目的の主語がどこか分かりません。分かりやすい文章になるよう検討してください。	2023年度の（一社）甲府青年会議所の活動方針を関係各所に周知し、理解と賛同を得ることにより、一層つながりを深めると同時に会員の自覚と会議所活動への意欲を高める例会を開催する。に変更いたしました。
03	理事予定者会議の対応に多様な会員が増えてとありますが、どのような会員が増えたのか教えてください。	会社員や個人事業主、女性会員が増えました。
04	03について、数年前と比較してどのように違うのか具体的な資料を用意してください。	具体的な数値を表す資料を用意いたします。

● 第02回財総予定者会議

●開催日 2022年10月13日(木曜日)

●審査

	指摘・質問	対応
01	予算概求書の内容が全角になっているので、半角に修正してください。	指摘箇所を半角に修正いたしました。
02	各予算の用途を教えてください。	細かな用途に関して見積りが上がってきていない箇所がありますので上がってき次第すぐに予算概求書に反映させます。
03	予算概求書の11月例会が事情案協議となっているので修正してください。	指摘箇所を「事業案協議」へ修正いたしました。
04	1月例会の会員の自覚とはどのようなものと考えているか教えてください。	一年の始まりに内外に2023年度のスローガン、目標など(一社)甲府青年会議所の活動の指針を共有し、メンバー一人ひとりが自らに与えられた立場や活動に使命感をもつことと考えています。
05	総務例会事業について、効率よく効果的な活動をするためには何が必要と考えているか教えてください。	滞りなく総務運営を行うことが必要だと思います。2022年度と内容が一部重なるため質問箇所を「会員が滞りなく活動できるよう支援をするとともに」に変更いたしました。
06	歴代総務委員長に話を聞いて、引き継ぎを行ってください。	再度、より細かいところまで歴代総務委員長にお伺いをして精度を高めていきます。
07	スパークプラグとはなにか教えてください。	スパークプラグのとは、ガソリンを燃焼させるために着火するためのパーツです。ガソリンと空気を混ぜただけでは燃焼しません。スパークプラグで火花を飛ばすことにより混合気に火をつけ、エンジンを動かします。
08	なぜ総務例会委員会がスパークプラグの管理をするのか教えてください。また、過去資料に由来等も記載があるので確認してください。	出席を競わせることで例会、事業への出席意欲を高めることと参加率の低い会員の情報収集をするため総務例会委員会で管理します。会員同士が混ざりあい、心を燃やし競い合うことが(一社)甲府青年会議所のスパークプラグの由来です。
09	年間事業報告書はなんのために作成するのか教えてください。	タスク管理、過去と現在の比較が可能、情報やノウハウの共有をして、未来の会員へ情報をフィードバックするためです。
10	会員手帳は会員のどのように活動の支えになるのか教えてください。	(一社)甲府青年会議所の必要な情報を正確に把握することができますので様々な活動を行っていく過程で支えになります。
11	会員手帳にシリアルナンバーが記載されている理由を教えてください。	個々の識別をするために割り当て管理を行うためです。

● 第02回三役予定者会議

●開催日 2022年10月17日(月曜日)

●審査

	指摘・質問	対応
01	11例会の事業目的の語尾を「例会を開催する」に修正してください。	「2024年度の活動方針と事業内容を会員同士が積極的に協議がおこなえる議場の提供を行う例会を開催する」に修正いたしました。
02	会員の意識改革とありますが、どの事業でどのように行うのか教えてください。	総務例会事業で行います。スパークプラグを活用し現状の把握から始め、情報の収集を行い、出席率向上させるための取り組みを行います。まずは目的と目標を設定し理事役員、各委員会に共有し行動を起こしたいと考えます。
03	基本理念からやりたいことは伝わるが、誰が見ても分かるような言葉を使ってもらいたい	基本理念を「活動に専念できる環境を提供するとともに、会員の意識改革を行い、組織の基盤を強化す

	す。	る。」に変更いたしました。
04	意識改革について大沼委員長の考えを教えてください。	意識改革を行うにあたりまず、目的や理由、行動を具体的かつ明確にする必要があると考えます。単なる命令や指示をすることでは成果はあげられないので意識改革をやらせるという働きかけではなく、継続的に実践できる環境を整えて支援していくことが重要と考えています。
06	1月例会の登録料収入の確実な予算を教えてください	2016年から20年までの平均登録料収入は427,000円のため400,000円に予算を設定いたします。

● 第02回臨時三役会議

●開催日 2022年10月23日(日曜日)

●審査

	指摘・質問	対応
01	会員が滞りなく活動できる総務運営とはどのようなことを考えているのか教えてください。	総務運営の基本である諸会議の設営及び議事録の作成、事務局備品の管理を怠ってしまうと会議所活動が遅れる、もしくは停止してしまいます。基本業務を確実に遂行することで会員が滞りなく活動できると思います。
02	従業員や母親といった多様な会員に対して組織としてどのようなことを行うのか教えてください。	ヒアリングやアンケートを行います。早めのスケジュールの共有、目的や内容の共有が重要と考えます。また、小さなお子様がいる会員への例会出席率を向上させるため託児所を設けるなども検討しています。
03	02の事項について、対象の会員に対してヒアリングは行っていますか。	次年度総務例会委員会配属メンバーや同期、交流の深い一部会員には行いました。対象の会員を選定し対象全員に実施したいと考えています。
04	意識改革についての明確な回答がなければ変更を検討してください。	行いたい具体策が来れない人のヒアリングやフォローアップを考えていますので、基本理念を「会員が活動に専念できる環境を提供するとともに、JC活動に向き合う意識の変化を促すことで、組織の基盤を強化する。」に変更いたしました。
05	例年と同じ活動をするだけでは意識改革には繋がらないと思います。なにか新しい取り組みは考えていますか。	公式に会社訪問(会社紹介)を実施したいと考えています。主な狙いは、出席状況の低い会員の会社紹介を行いたいと訪問をして、会社紹介の取材を行うとともにヒアリングやアンケートを実施し、それをもとに対象会員の意識、意欲を高めるため個別のプランニングや相談を実施し活動に参加するためのきっかけを作りたいと考えています。

● 第03回理事予定者会議

●開催日 2022年10月27日(木曜日)

●協議

	指摘・質問	対応
01	1月例会の予算について、現在分かっている内訳を教えてください。	会場費、飲食代、外注費となっております。
02	指摘対応で、会社訪問やヒアリングとありますが、総務で対応することなのか疑問です。それよりも、それよりも会員が活動しやすい環境を整えたり、活動予算が抑えられるような提案や活動をしたほうが優先ではないかと思っています。	JC活動の原点でもあり、基本となる例会への出席率を向上させるために、早めの日程共有や目的の伝達等を徹底すると同時に、例会に参加できない(参加しない)方へのフォローもしていかなければいけないと考えています。特に参加されていない方に直接会い、話を聞くことにより出席率をあげるヒントがあると考えています。また、対面することによって状況もわかりやすく情報の欠落も生まれにくいという効果が期待できます。組織運営を担う総務例会委員

		会が会社訪問(会社紹介)しヒアリングを行うことで理事役員、各委員会にいち早く情報共有ができると考えています。 また、会員が活動しやすい環境を作っていくのは総務の使命と考えています。「目配り」「気配り」「心配り」の出来る総務運営を心がけます。 予算に関しては各委員会との連携を深めて共有できる部分に関しては総務例会委員会でお手伝いしたいと考えています。
03	意識の変化とありますが、現状の意識はどういったもので、それをどう変えたいのか委員長の言葉で教えてください。	会員の参加協力状況をスパークプラグで確認すると、近年、例会や事業への出席率が低下しているのが現状です。組織に属しているという意識と、組織を利用し自己錬磨について無関心と思われる雰囲気が濃厚になっていると考えます。一人ひとりが組織に誇りを持ち、自主的に活動に参加出来るよう帰属意識を高めていきたいと考えています。
04	会員手帳について、デジタル化は検討しないのですか。	セキュリティの問題やシニア会員への配布方法等で断念してきた経緯がございますが、会員手帳のデジタル化につきましては再度検討させていただきます。
05	基本理念を悲観的な表現は避けて、ポジティブな表現にしてください。	悲観的に思われる表現を避けて「活動しやすい環境を提供するとともに、会員の例会への参加意欲を向上させ、組織の基盤を強化する。」に変更いたしました。
06	基本理念の組織の基盤の強化と意識の変化が逆だと思えます。意識の変化を促した結果、組織の基盤が強化されるのだと思えます。また、JC活動という表現では他の委員会との区別がぼやけてきます。総務例会委員会として組織の基盤に繋がるのは例会だと思えますので、そういった考え方を基本理念に落とし込めば、よりよい理念になると思えます。	他の委員会との区別はわかりにくくなるため「JC活動」という表現を外しました。 「活動しやすい環境を提供するとともに、会員の例会への参加意欲を向上させ、組織の基盤を強化する。」に変更いたしました。

● 2022年度第02回合同三役会議 ●開催日 2022年11月05日(土曜日) ●協議

	指摘・質問	対応
01	11月例会の事業内容に関して二重に言葉が使われているのでシンプルにしてください。	「2024年度の活動方針と事業内容を会員同士で協議する例会を開催する。」に変更しました。
02	総務例会事業の35万円の予算書の内訳を教えてください。	会員慶弔費用は事務局費で見込んでおります。主に2023年度理事会開催の会場費16回分及び2024年度理事予定者会議5回分と諸会議用の会場費7回分です。 その他、横断幕やネームプレートなどの外注費となっております。
03	理念の「活動しやすい環境を提供することで」は総務が行う範囲ではないと思いますので再考してください。	「活動に専念できる環境を構築するとともに、会員の例会への参加意欲を向上させ、組織の基盤を強化する」に変更いたしました。
04	1月例会の誤字を修正してください。	誤字を修正し「2023年度の(一社)甲府青年会議所の活動方針を関係各所に周知し、理解と賛同を得ることで、より一層つながりを深められる例会を開催する。」にいたしました。
05	次年度、例会への出席を促すのはどこの委員会でしょうか。	総務例会委員会で行います。
06	スパークプラグの管理を総務が担当する理由は	例会、事業への出席率の向上を目的とした情報収集

	なぜでしょうか。	と出席を促すためです。
07	スパークプラグを担当する理由を明確にしてください。毎月管理することが参加意識の向上につながると思います。	今年度同様に出席率をランキング形式で表示し、ランキングを会員ページに掲載することで、競争意識を芽生えさせ出席率向上につなげようと考えています。また、毎月管理することで出席できない会員へのフォローアップも迅速に行うことができ、参加意識の向上につながれると考えています。 ダズ

● 2022年度第12回理事会 ●開催日 2022年11月08日(火曜日) ●協議

	指摘・質問	対応
01	今年度の個別事業で諸会議の設営と事務局及び備品管理が分けられていたのに、なぜ次年度は総務例会事業の中に一括りにされているのですか。	事業目的/内容の4つをもって気配り、目配りに配慮しながら行うことが例会への出席率を高めるためにつながると考え、一括りに記載をさせていただきました。
02	年間で2021年度と似ているので工夫をしてください。	一見、「意欲を高める」という部分では似ている表現がありますが、2023年度は「例会へ参加意欲」に的を絞っております。また、2023年度は「発信」という役割はございませんので違った内容となっていると考えています。
03	例会への出席率向上の部分で今年度のJCハーモニー委員会と総務例会委員会の委員長から意見を聞き、年間事業計画書に盛り込んでみたいかがでしょうか。	実際にヒアリングを行い、出席率向上の難しさを感じることができました。刺激を受けまして総務例会委員会として例会への出席率向上にチャレンジしたいと考えていますので、実際の取り組みや工夫に関しては個別計画書に落とし込んでいきたいです。

● 第03回財総予定者会議 ●開催日 2022年11月11日(金曜日) ●審査

	指摘・質問	対応
01	会員手帳の予算は、確定後変更対応してください。	予算の変更を行い修正いたしました。
02	総務例会委員会が例会の出席率を向上させることが、なぜ必要なのかを教えてください。	総務例会事業を通じ他の委員会よりも会員と多く接する機会があります。また、組織の運営に携わっているため総務が出席率の向上をさせることが必要と考えます。
03	例会への参加意欲を向上させるには、具体的に何を行えばいいと考えていますか。	早めの日程共有や会員の参加出来なかった理由を把握しフォローアップを行うことで例会への参加意欲の向上すると考えています。
04	1月例会で、理解と賛同を得るためには何が必要と考えていますか。	2023年度の運動方針をしっかりと伝えること、活動の中心となっていく新しい理事役員、委員会を認識してもらうことが必要と考えています。